

## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表(公表)

公表：2024年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」小倉北校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			一人当たり3㎡以上のスペースを確保しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			法定の人員に加え、2名の指導員を加配し、必要に応じて非常勤職員の増員も行っています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		事業所入口が2階部分にあり、階段のため車いすやストレッチャーに対応できません。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			定期的に職員の個別面談を行い、目標設定と振り返りを行っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			常勤職員を対象に人事考課を実施。半期に1度業務の振り返りを行っています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			年に一度保護者アンケートを実施。改善につなげています
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			定期的に事業所外の者から内部監査を受けています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・(財)発達支援研究所へ研修を依頼し、月に一度支援に関する職員研修を行っています。 ・事例検討会や初任者研修など、社内研修の仕組みが構築されています。 ・法廷研修、教材図書などの委員会を設置しリモートでの研修制度も充実しています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			フェイスシート、アセスメントシートを活用しニーズの探り出しを行っています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			全利用児へ統一したアセスメントを実施しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			モニタリング会議の際にニーズに合わせた活動プログラムとなるよう職員間で話し合っています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			少なくとも6ヶ月に1度は個別支援計画の振り返りを行い、利用児に合わせたプログラムとなるよう工夫しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日、休日、長期休暇に応じて課題を設定しています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別と集団を組み合わせた支援を提供しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日、勤務開始時に朝礼で確認しています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			終礼時に利用者状況を共有し、質の向上を図っています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援記録は当日中に記入し、モニタリングの資料として活用しています。

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		少なくとも6ヶ月に1度モニタリングを実施しています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○		ガイドラインに沿った活動を提供しています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		担当児童指導員が参加できるように調整しています。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		月間利用予定表の配布、新規利用児の情報共有など適切に実施しています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	現在、該当者はいません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		・担当者会議を実施し情報共有を行い相互理解の機会を設けています。また、送迎の際に情報交換し、統一した支援の実施に努めています。 ・保護者を介した情報共有を行っています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか	○		相談支援員を通じて情報共有を行っています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	保護者を通じてお話を聞き、受診同行も適宜行っています。 専門機関の医師などに状況報告書や意見伺い書等をお渡しして、支援についての情報共有を行っています。 また、虐待や感染症についての研修には、積極的に参加しています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	利用者自身が児童館などへ行くことがありますが、事業所としてはそのような機会を設けていません。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○	現在は、参加できていません。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時やモニタリング説明時に共通認識を確認している。また、日々の様子は連絡帳 SNS(LINE)等で情報交換を行っています。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	2023/11/23に保護者会にて、「親子ワークショップ」を実施、親子でクリスマスのオーナメント制作を体験していただきました。ワークショップ後は職員と保護者の交流、保護者同士のピアサポートを実施しました。
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に書面と口頭で説明を行っています。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		適宜、行っています。より、相談しやすい環境づくりのために、事業所内相談支援家庭連携支援なども行っています。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		2023/11/23に保護者会にて、「親子ワークショップ」を実施、親子でクリスマスのオーナメント制作を体験していただきました。ワークショップ後は職員と保護者の交流、保護者同士のピアサポートを実施しました。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		管理者が苦情受付責任者となり、事故やトラブルの際には迅速な対応を行っています。

	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			事業所のブログや公式 LINE を使用して活動の様子を保護者へ発信しています。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			鍵付きキャビネットに個人情報ファイル等を保管し、退勤時にはパソコンも鍵付きキャビネットに収納しています。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			口頭のみでなく、書面や LINE にすることで、情報伝達の配慮を行っています。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		現在は、そのような機会は儲けていませんが、今後は検討していきます。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			毎月防災訓練を実施しています。ブログや、LINE の一斉送信、次月の利用予定表などで実施日のお知らせをしています。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年間計画を立て、月に 1 度防災訓練を実施しています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			入社時研修、毎月の虐待防止委員会研修、行政の研修で虐待防止に関する意識向上を図り全職員でフィードバックを行っています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			重要事項説明書に身体拘束についての事項を明記し、必要に応じて個別支援計画への記載を行っています。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			食物アレルギーがある場合は、アレルギー指示書へ記入してもらい、職員間での周知を行っています。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			作成、共有しています。

## 保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果(公表)

公表：2024年 2月 15日

事業所名: こどもサポート教室「きらり」小倉北校 校 保護者等数(児童数): 28 (30) 回収数: 21 割合: 75 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	19	2	0	法令を遵守したスペースを確保しており、お子様が安全に活動できるスペースを確保しております。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	20	1	0	<b>【ご意見】</b> いつもしっかり見守っていただいております。 法定の人員に加え、2名の指導員を加配し、必要に応じて非常勤職員の増員も行っています。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	16	4	1	<b>【ご意見】</b> 入口までが階段になっている 必要に応じて、可能な限り鋭意対応いたします。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	21	0	0	
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	20	1	0	<b>【ご意見】</b> イベントなどもあり、子どもは楽しみにしている ・今後も楽しいプログラムを作成していきます。 ・少なくとも6ヶ月に1度は個別支援計画の振り返りを行い、利用児に合わせたプログラムとなるよう工夫しています。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	10	9	2	現在は、該当するような機会を設けていませんが、ご要望があれば検討します。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	21	0	0	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	21	0	0	<b>【ご意見】</b> 面談などもあり、子供の状況などの共有もできている 保護者の皆様と直接お話できる面談の時間は特に大切にしております ほかにも、送迎時や連絡帳、オフィシャルLINE を介して情報共有のできる環境づくりを行ってまいります。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	21	0	0	
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	20	1	0	<b>【ご意見】</b> 保護者会のテーマなどあれば、参加しやすいです。 保護者の皆様によりわかりやすく興味を持っていただけるテーマを設定して取り組みたいと思います。 昨年は、2023/11/23に保護者会にて、「親子ワークショップ」を実施、親子でクリスマスのオーナメント制作を体験していただきました。ワークショップ後は職員と保護者の交流、保護者同士のピアサポートを実施しました。

	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	19	2	0	管理者が苦情受付責任者となり、事故やトラブルの際には迅速な対応を行っています。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	21	0	0	
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	21	0	0	
	⑭	個人情報に十分注意しているか	20	1	0	
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	18	3	0	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	20	1	0	
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	21	0	0	【ご意見】 いつも活動に関していろいろと楽しい企画を提案くださり、子どもも楽しく活動させていただいております いつもありがとうございます。大切なお子様をお預かりする、安心安全な環境を提供し、療育の質の向上を目指してまいります。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	21	0	0	

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。